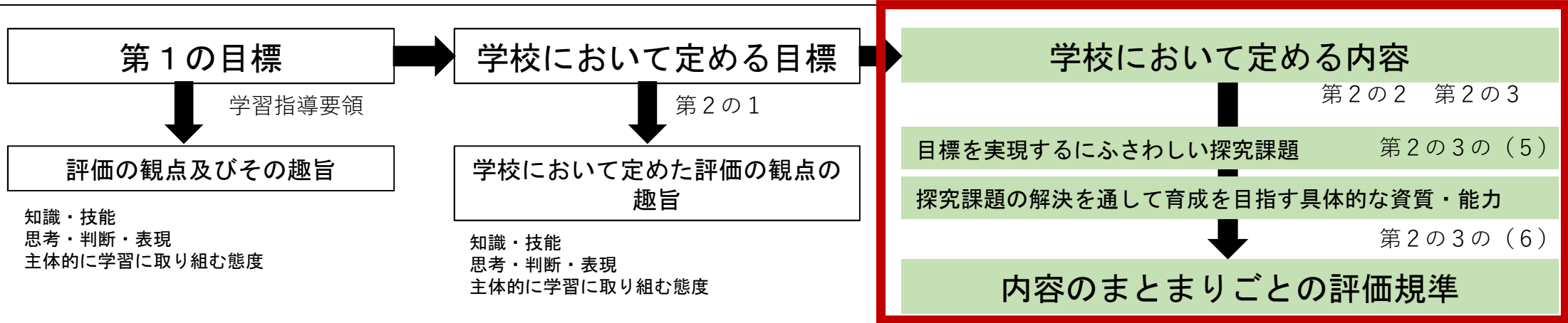
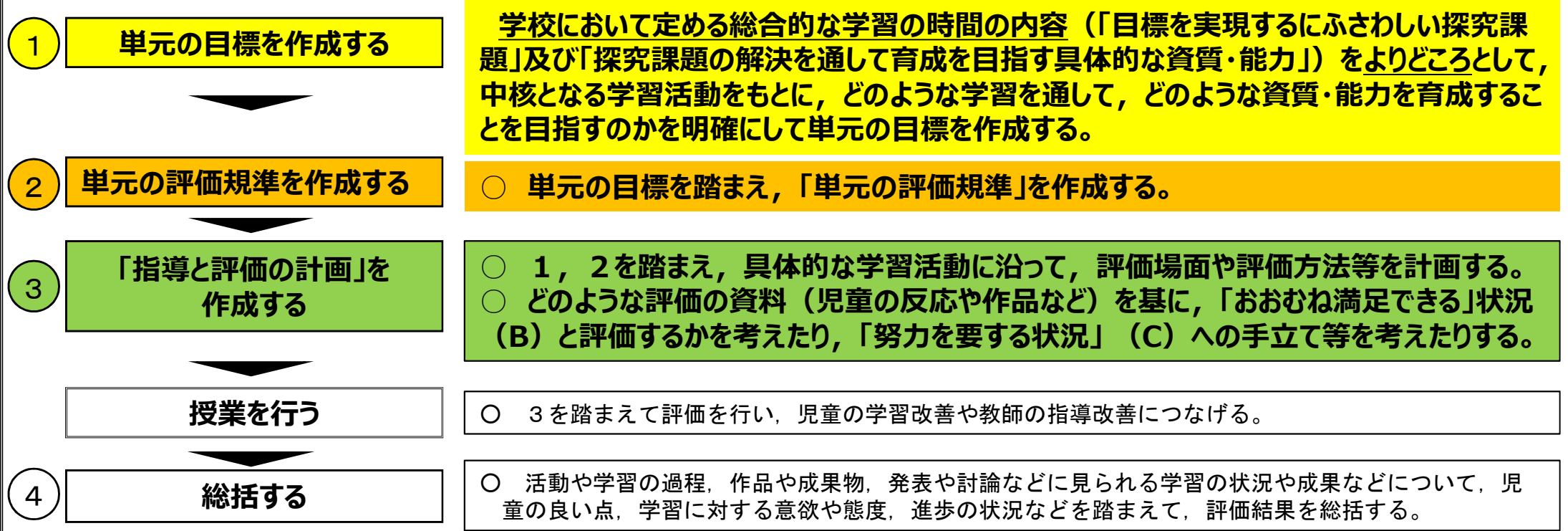


小中学校 総合的な学習の時間における評価規準を作成する際の手順



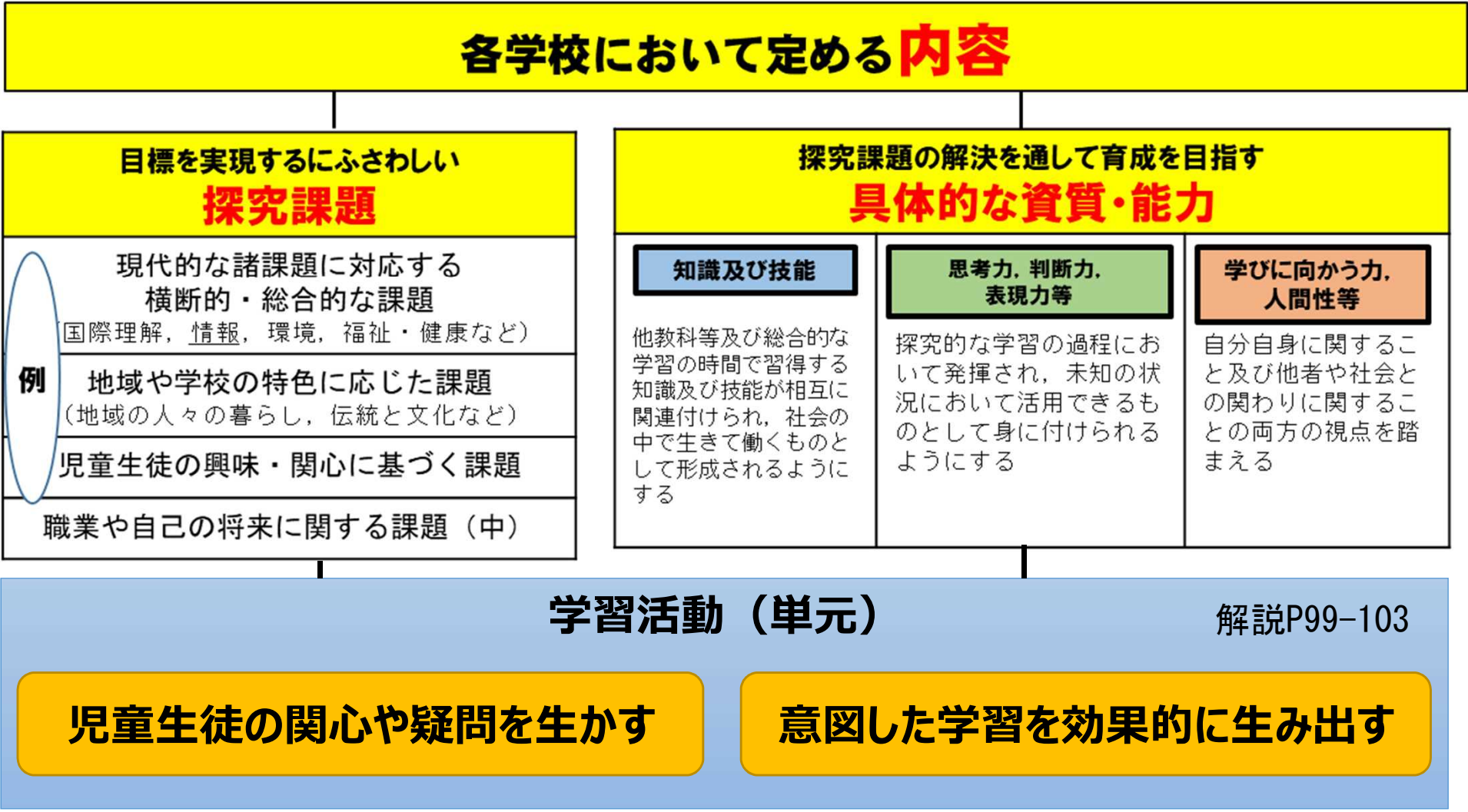
- ①各学校において定めた目標と「評価の観点及びその趣旨」を確認する。
- ②各学校において定めた内容（探究課題ごとに作成した「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」）の記述が、観点ごとにどのように整理されているかを確認する。
- ③【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

評価の進め方



総合的な学習の時間における単元及び単元の目標

総合的な学習の時間における「内容のまとめり」



単元の目標は、どのような学習を通して、児童生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを明確に示したものである。各学校において定める目標や内容を視野に入れ、中核となる学習活動を基に構成する。

① 単元の目標を作成する

学校において定める総合的な学習の時間の内容（「目標を実現するにふさわしい探究課題」及び「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」）を**よりどころ**として、**中核となる学習活動**をもとに、どのような学習を通して、どのような資質・能力を育成することを明確にして単元の目標を作成する。

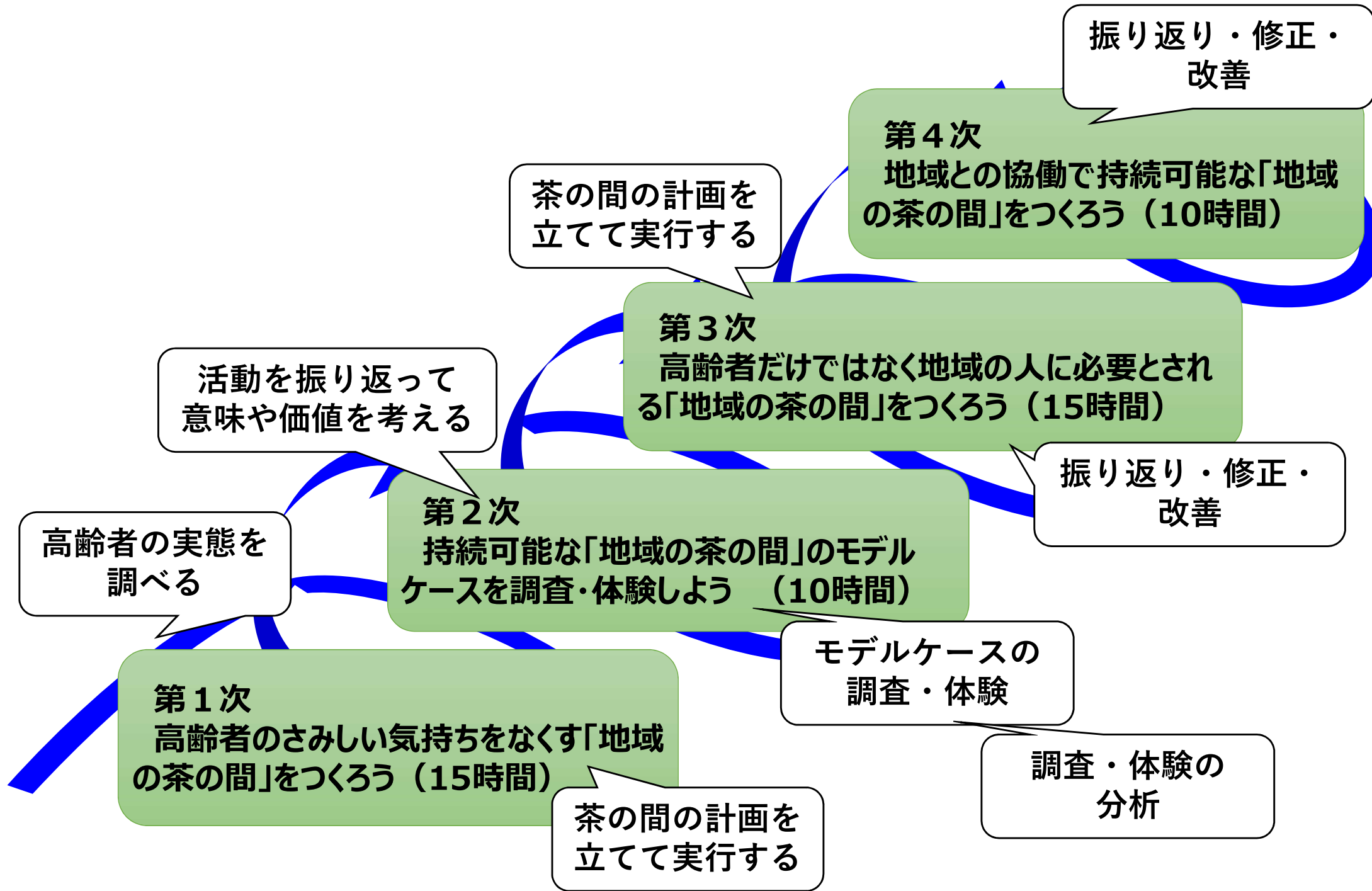
〔例〕第6学年「地域の絆を再生しよう」（全50時間）に基づいた作成の手順

探究課題：「身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々」を基盤に単元を構想したもの

〔単元の目標〕

少子高齢化や核家族化を背景に、さみしさを抱えながら暮らす**高齢者の孤独の解消に向けて活動する**ことを通して、高齢者の暮らしを支える取組や人々の思いに気付き、高齢者の暮らしを支える「地域の茶の間（地域の人々が集い交流できる場）」の在り方について考えるとともに、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとするようにする。

中核となる学習活動を構想する



〔単元の評価規準を作成する手順〕

- ① 単元の目標を確認する。
- ② 単元の目標に示された資質・能力を踏まえ、目指すべき学習状況としての児童生徒の姿を想定し、単元の評価規準を作成する。

② 単元の評価規準を作成する

①単元の目標を確認する。

〔単元の目標〕

少子高齢化や核家族化を背景に、さみしさを抱えながら暮らす高齢者の孤独の解消に向けて活動することを通して、**高齢者の暮らしを支える取組や人々の思いに気づき**、**高齢者の暮らしを支える「地域の茶の間（地域の人々が集い交流できる場）」の在り方について考える**とともに、**学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする**ようにする。

②単元の目標に示された資質・能力を踏まえ、目指すべき学習状況としての児童生徒の姿を想定し、単元の評価規準を作成する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①高齢者のくらしを支える取組や人々の思いを基に、「地域の茶の間」は、地域の人々と思いを共有し、協働してつくることで持続可能なものとなることを理解している。</p> <p>②高齢者とその暮らしについて学んだことが自分の生活を深く関わっていることを理解している。</p> <p style="text-align: center;">概念的知識</p> <p>③「地域の茶の間」を開催したり、モデルケースを調査・体験したりして収集した情報と情報の関係について、図や文章でまとめる方法が分かっている。</p> <p style="text-align: center;">技能</p>	<p>①地域の高齢者とその暮らしについて、理想との隔たりから課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。 課題の設定</p> <p>②高齢者の孤独の解消のために必要な情報を、手段を選択して収集している。 情報の収集</p> <p>③持続可能な「地域の茶の間」をつくるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 整理・分析</p> <p>④伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 まとめ・表現</p>	<p>①活動を通して、自分と身の回り的高齢者とのかかわりを見直そうとしている。</p> <p>②「地域の茶の間」の体験を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③課題解決の状況を振り返り、あきらめずに高齢者の孤独の解消に向けて取り組もうとしている。</p> <p>※自分自身に関すること、他者や社会に関することの両方の視点を踏まえる。</p>

育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準の作成のポイント

観点	ポイント
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の設定の段階において、探究課題で扱うテーマから考えられる概念から学習活動を想定して具体化してみる。 ・学習活動を進める中で児童生徒が得るであろう個別的・具体的な知識や技能を参考にして、子どもたちにどのような概念の形成を期待するのかということを明示することが重要。 ・探究を進める中で各教科等の学習で身に付けた技能を活用することを通して、「どのような場面でその技能を使うことができるか」や「その技能を使うことでどのような結果や効果が得られるか」といった、技能の活用方法や性質も理解できるようになることを踏まえる。
<p>思考判断表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の各過程における学習活動の目的に応じて、「知識や技能」を適切に活用する姿やその過程に注目する。 <p>①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程において見通しを持ち、自ら計画を立てて自律的に課題解決に向かう主体的な態度と、他者とともに課題解決に取り組み、多様な考えを生かして新たな知を創造しようとする協働的な態度の形成を基盤とする。 <p>＜粘り強い取組を行おうとする側面＞</p> <p>→継続的に自らの問いや学びの意義を見だし、課題解決に取り組もうとする態度に表われると考えられる。</p> <p>＜粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面＞</p> <p>→活動の見通しをもつ場面や各時間や単元の振り返りの場面の観察や作文などを通して、自らの課題を更新しているかどうかや、児童生徒が自らの学習活動を適切に把握し、見通しをもって学習を進めようとしているかどうかを把握することが大切。</p>

③ 「指導と評価の計画」を作成する

小単元名	ねらい・学習活動	知	思	態	備考（評価方法）
高齢者のさみしい気持ちをなくす「地域の茶の間」をつくろう（15時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者とその暮らしについて調べ、高齢者の困りごとに気づき、理想と現実の隔たりから学級全員で取り組む課題を設定する。 ・必要な情報を調べながら、「地域の茶の間」の計画（場所や日時、プログラム等）を立てる。 ・学習課題に照らし、「地域の茶の間」の計画を修正・改善する。 ・計画を修正・改善しながら複数回の「地域の茶の間」を開催する。 	①	①	①	知：作文 思：発言・作文 態：発言・作文
持続可能な「地域の茶の間」のモデルケースを調査・体験しよう（10時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の茶の間」の活動を振り返り、活動の意味や価値を考えることで、課題を再設定する。 ・「地域の茶の間」を持続可能な形で運営しているモデルケースの調査・体験活動を行い、必要な情報を収集する。 ・モデルケースの特徴を整理し、その背景を分析することで、高齢者のくらしを支える人の工夫や思いに気付く。 ・自分たちが開催した「地域の茶の間」とモデルケースの調査・体験活動を基に、持続可能な「地域の茶の間」の在り方について考え、概念的知識を形成する。 <p>※評価方法の記述・・・【作文】（作文シート）【発言】（発言内容） 【FG】（ファシリテーショングラフィック） 【行動】（行動観察）</p>	① ③ ①	① ② ③	②	思：発言・作文 知：作文 思：行動・作文 技：FG 知：発言・作文 思：発言・作文 態：発言・行動
高齢者だけではなく地域の人に必要とされる「地域の茶の間」をつくろう（15時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・概念的知識を基に、課題を再設定する。 ・必要な情報を調べながら、「地域の茶の間」の計画（場所や日時、プログラム等）を立てる。 ・学習課題に照らし、「地域の茶の間」の計画を修正・改善する。 ・計画を修正・改善しながら複数回の「地域の茶の間」を開催する。 		② ④	②	思：発言・行動 態：発言・行動 思：行動
地域との協働で持続可能な「地域の茶の間」をつくろう（10時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動で課題が解決されたかを振り返り、課題を再設定する。 ・地域の誰と協働すればよいかを考える。 ・地域の方に、協働で「地域の茶の間」を継続開催することを働きかける。 ・これまでの活動を通しての自分の変化を振り返り、作文にまとめる。 	②	④	③ ①	態：発言・作文 思：作文・行動 知：作文・行動